



# 脱炭素 まちづくり カレッジ



## 脱炭素まちづくりカレッジ in 徳島

日 時 | 2022年10月30日（日）13:30-16:00（開場 13:15）

会 場 | エコみらいとくしま 2F 会議室  
徳島県徳島市西新浜町2丁目3-102（駐車場有）

定 員 | 20名

参加費 | 無料

■申込 | メールで申込ください

[ecomirai@lagoon.ocn.ne.jp](mailto:ecomirai@lagoon.ocn.ne.jp)

※名前, 所属, 電話番号, メールアドレス, 住所を上記アドレスに記載し, 送信してください.  
本HP上にある「脱炭素まちづくり in 徳島」の参加申し込みからも申し込み可能です.

脱炭素まちづくりカレッジ



# 脱炭素 まちづくり カレッジ

プログラム

知識習得

脱炭素  
まちづくり  
BASIC

未来体験

脱炭素  
まちづくり  
PLAY!

実践

脱炭素  
まちづくり  
DESIGN

脱炭素まちづくりカレッジ

## 知識習得



# 脱炭素 まちづくり BASIC

脱炭素まちづくりに必要な地球温暖化・気候危機、緩和（削減）・適応に必要な市民生活やまちづくりの対策に関する知識を学ぶ講義と知識取得を確認する検定のプログラムです。



## プログラム

- | 講義1 | 気候危機の基礎知識 11 → | 対話1 | 知識への理解を深め、共有する
- | 講義2 | 脱炭素型まちづくりの実践を学ぶ → | 対話2 | 自分ができる、地域でできる

# 11

## 気候危機の必須知識

### 1.24° の気温上昇

### 地球・日本を襲う6つの未来危機

シナリオ

- 食糧危機
- 文化消滅
- 酷暑・水不足
- 格差拡大
- 感染爆発
- 災害日常化

### 上昇幅を1.5°C以内に抑制が、全世界的な目標

### 3つの提言

- 1 排出量の見える化とライフスタイル転換
- 2 地域から始める市民みんなで始める
- 3 対話と協働による包括的アプローチ

### 日本人のライフスタイルCFP

日本人一人あたり

# 年間約7,100kg CO2を排出

軽自動車 1台分の置き

杉 510本分 (サッカーコート一面分) の年間吸収量

🌲 × 510 = ☐

### 日本人のライフスタイルCFP

一人あたり 70 kg CO2

【住居】 2,500kg	30
【移動】 1,400kg	20
【食】 1,500kg	18
【消費】 1,000kg	13
【エンターテインメント】 1,300kg	19

### 【住居】領域の削減アクション

# 30 2,400kg

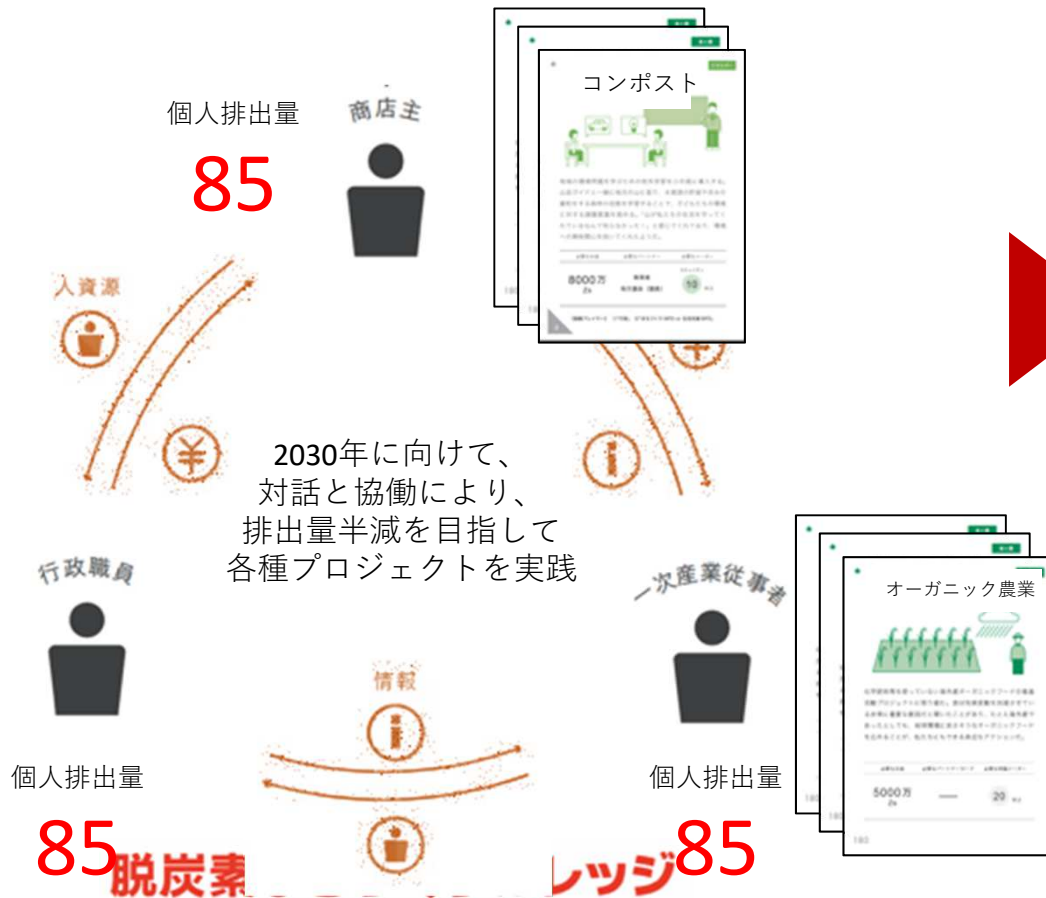
自宅に太陽光パネル設置	-50	-125kg
自宅の電力を再々8に	-57	-123kg
自宅をコンパクトに	-3	-25kg
自宅を断熱リフォーム	-2	-52kg
ウォーム（フォーム）EPC	-2	-15kg
ヒートポンプ	-2	-118kg
暖房をエアコンだけに	-2	-115kg
自宅の電球をLEDに	-1	-79kg

# 未来体験



## 脱炭素 まちづくり PLAY!

地域内の様々なプレイヤーが対話・協働しながら、  
2030年半減に向けてまちづくりの推進を疑似体験する  
ロールプレイングゲーム型の体験プログラム



実行プロジェクトに応じて3つのパラメーターが変化



## 実践



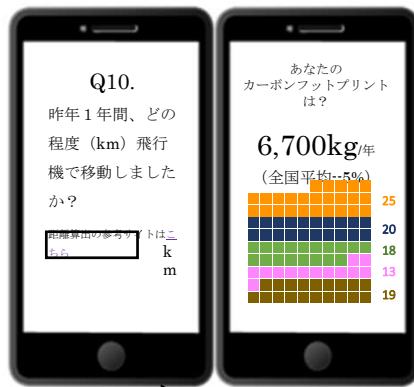
# 脱炭素 まちづくり DESIGN

脱炭素まちづくりの実践のために自分および自分達が暮らす地域のカーボンフットプリント（排出量）を見える化し、その削減プランを企画・具体化するデザインプログラムです。

### step1

## MY CO2の見える化

オリジナルのwebツールを用いて、市民一人ひとりのカーボンフットプリントを算出し、自分の生活を振り返り、チームで共有する。



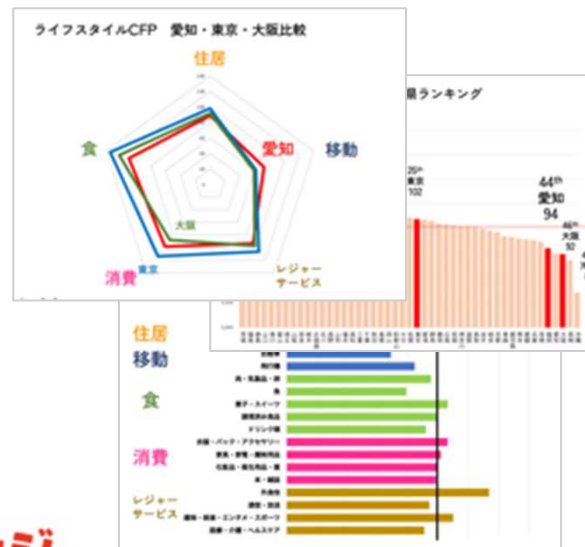
次へ

## 脱炭素まちづくりカレッジ

### step 2

## 地域 CO2の見える化

都道府県別のカーボンフットプリントデータや市区町村別の排出量データを共有し、地域の課題を確認する。



### step 3

## 脱炭素まちづくりプラン

短期（すぐに）、中期（1-2年）、長期（3-5年）で実施する個人、および地域の脱炭素プランを検討する。

